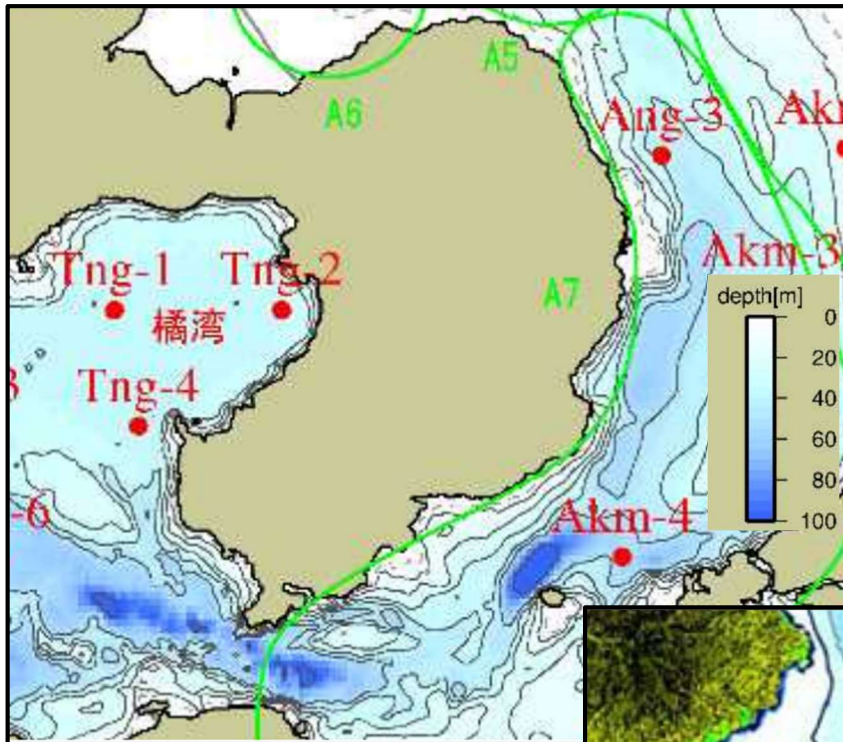


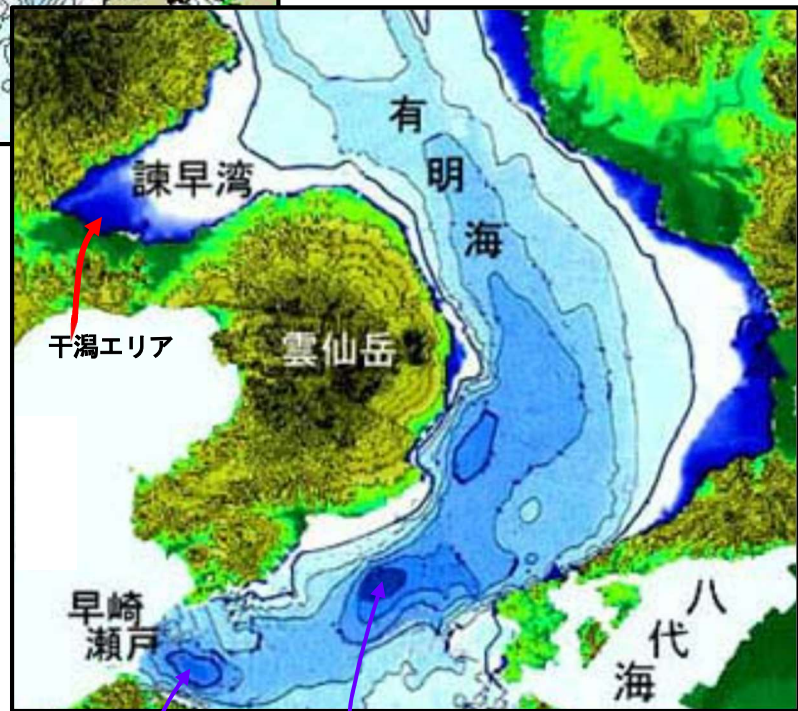
有明海状況図

① 海底地形図・水深図（九州農政局-平成 29 年 10 月）



●海底地形

- ・有明海西側（島原半島沿岸）海底等高線は東側（天草諸島沿岸）に比し密で、沿岸でも水深の確保が比較的容易であるため、港の構築に有利（深江、布津、口之津）
- ・天草諸島沿岸は遠浅地域が連続存在しているために小舟以外の運航には適さない（秦の始皇帝臣下「徐福」訪日、外洋運航可能な船舶は天草諸島沿岸航行は困難であり、島原半島沿岸の航行は問題が少ない。）



② 潮流図（環境省-平成 04 年）



●最大干潮差発生の春秋大潮時の流速図

（鳴門海峡、下関海峡に次ぐ早崎の潮流）

- ・最大流入速度：5.4kt (10.0m/s)
- ・最大流出速度：5.9kt (10.9m/s)

●潮流特性

- ・島原半島沿岸は天草諸島沿岸に比し流入・出何れも流速が2～3倍と大
- ・有明海には恒常的に反時計回りの循環潮流が存在(恒流)
- ・島原半島と天草諸島との小舟を用いた往来は比較的容易